

たICT活用促進につながっている。

(2) ドコモ光パックの提供

ドコモ光パックは、2015年3月に提供開始された「ドコモ光」とスマートフォン料金をセットにしたプランである(図表2-1-3)。

「ドコモ光」とは、NTTドコモが提供する光回線インターネットサービスで、NTT東西が展開するフレッツ光回線を活用したものだ。自宅などで利用する固定回線サービス(ドコモ光)と、スマートフォンなどのモバイル通信を同時に契約することで、月々の通信費が割引されたり、データ容量をシェアできたりするなどのメリットが得られるようになっている。利用者にとっては、モバイルと固定回線を1つにまとめて管理できるうえに、料金面やサポート面での優遇措置が受けやすくなるのが特徴だ。

KDDIの「auスマートバリュー」やソフトバンクの「おうち割 光セット」との競争が激化する中、ドコモ光パックはセット割引だけでなく、サポート体制やオプションサービスの充実を含む総合的な差別化戦略の要となっている。特に、IoTやスマートホーム領域での活用が進んでおり、高品質なネットワーク環境を定額で利用できることから、家庭内のデバイス連携の円滑化に貢献している。ドアホンやエアコンなどの遠隔制御、さらに見守りサービス等での導入事例が見られるようになったのもこうした流れの一環である。

また、光コラボレーションモデルとの連動によって、新たなビジネス機会も生まれている。ドコモショップや家電量販店の店頭では、モバイル契約と同時に光サービスを提案するケースが見られ、ワンストップでのユーザー訴求が可能な販売体制を強化している。これにより顧客接点を拡大し、長期的な契約維持率の向上にも寄与している。

NTTコミュニケーションズにおいても、ドコモ光とのセット割やOCN光との組み合わせなど、多角的な施策を展開し、モバイルと固定通信のシナジーを高めている。NTTグループ以外のサービスとの連携も比較的容易なため、異なる業界の企業と組んで新しい料金プランやコンテンツ連動型サービスを提供する事例も増加している。

さらにNTTグループは、5Gや将来の6Gといった次世代通信技術の導入を見据え、固定とモバイルの更なる融合を促進している。NTT東日本は一部地域でローカル5Gの実証実験を行い、光コラボレーションモデルとの連携を模索。遠隔医療や防災支援といった社会的意義の高い分野でのサービス展開が期待されている。ドコモ光パックでもクラウドゲーミングや動画配信の高速・安定利用をめざす取り組みが進展しており、エンターテインメント分野のみならず、遠隔学習や在宅勤務の基盤としても注目を集めている。